

島根県立益田高等学校

一年 前川 晶

税は、私たちが生きていくこの社会のうえではとても重要な役割を担っています。小学校の頃から何度も受けてきた租税教室で、税務署の方のお話を聞いたたびにいつもそう感じます。もし税という制度がなかったら、きっと社会全体がとても悲惨なものになってしまふと思います。治安は悪くなり、日本は安心して暮らせる国ではなくなり、最悪の場合、あまりの居心地の悪さに日本を出て外国へ移住する人も多くなるかもしれません。そうなれば日本という国はあつというまに廃れてしまふでしょう。税という制度一つがなくなっただけで国の危機にまで発展しうるということを考えてとても恐ろしくなります。

私たち高校生が関わる税は主に二つあると思います。一つは今年の四月から五パーセントから八パーセントに税率が上昇した消費税です。私は、実際に税率が上がるまで、たつ

たの三パーセントならそれほど騒ぐ必要はないのではないかと思っていました。ですが、実際に今まで普通に買っていたものが値上がりしているのを目にすると、買っても大丈夫かどうか悩むようになりました。たった少しの金額の差でも高校生が限られたお小遣いを使う上では大きな差になるのだと実感しました。

二つ目は文教及び科学振興費というものです。文教及び科学振興費とは教育環境の整備や科学技術の発展のために使われるものです。その中でもとくに私たちに関わってくるのが教科書の無償配付や全国学力調査の実施などのための教育振興助成費と、公立学校の校舎改築などのための文教施設費などです。私たちが小学校の六年間と中学校の三年間で教育を受けるための税の負担額は合計で約八百五万五千元です。そして、これからの高校生生活の三年間でさらに二百九十九万一千円、つまり、小学校入学から高校卒業までに一人あた

り一千万円以上もの金額を税が負担してくれているということになります。ですが、結局は、その税の多くを負担しているのは私たちのお父さんやお母さんです。その人たちが税をきちんと納めてくれていてのおかげで、私たちはより質の良い教育を良い環境で受けることができますのです。

今の日本では脱税などの問題が起こっていますが、納税は私たち日本国民の義務です。その義務を果たすことによつて社会は成り立っています。誰か一人でもその義務を果たさなければ、社会の秩序は乱れてしまいます。そうならないためにも、そして私が大人になつたとき、私が税があるおかげですることのできたことがそのときの子どもたちにもできるようにするためにも、私は、私の父や母のように国民としての義務をきちんと果たせる大人になりたいです。